

「地域を元気に！」  
 ～令和五年度を振り返って～

東小地区福祉会会長 岩重 一成

昨年五月に新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、安全に配慮しながらも、さまざまな活動が戻って団体間の交流も深まった一年でした。

十月には「地域を元気にしよう」と第二十五回地域まつり『栗生ぞらまつり』を開催いたしました。模擬店やステージ発表は募集からすぐに定員数となり、準備から本番、片付けまで地区福祉会幹事団体をはじめ多くのボランティア参加を得て予想以上に盛大に、また、無事に開催することができました。まつりの始めには箕面市高齢者表彰を行い多くの方々にお祝いの声をいただきました。ご協力いただいた方々、ご来場いただいた方々から感謝申し上げます。

サークル活動の歩こう会・ゴルフ会・コーラス会・パトロール隊や地域の高齢者サロン子育てサロンの活動もコロナ前に戻ってきました。「お茶の間えみい」かよう会「公園で栗生くよ」など新たな活動も生まれました。「地域を元気にする・何を守り何をたいせつにするのか・何をどうつないでいくのか」など意識の高まりが感じられる話し合いもたくさんありました。

これからの活動の展開や広がりに向け、より多くの住民の方々がつながり、元気になる活動を継続していきたいと思えます。皆さんのご参加ご協力をよろしくお願ひします。

# 東小地区福祉会だより

第 83 号  
 発行者  
 東小地区福祉会  
 TEL・700-0294  
 ホームページ  
<https://minoh.chiiki-fukushi.net/higashi/>



## あ お 栗生ぞらまつり

爽やかな秋晴れの中、令和5年10月29日、東小学校において『栗生ぞらまつり』を開催しました。まつりの最初には、箕面市元気はつらつ高齢者表彰受賞者に上島一彦市長から表彰状が授与され、来場者の大きな拍手でお祝いをしました。お店もステージも多くの来場者の笑顔と歓喜に溢れた一日となりました。

学校関係者、ボランティアの方々、出店出演の皆様 東小学校周辺にお住まいの皆様にご協力いただきましたこと、この場をお借りし御礼申し上げます。



## 社協活動協力金のご報告

協力金 500円 (1口)  
 特別協力金 5,000円 (1口)



社協協力金活動には、校区内自治会様のご協力を頂いています。今年度の協力金累計金額は 569,000円でした。皆さまから頂いた協力金は地区の福祉会活動(60%)、市全体の福祉会活動・社協事業(40%)に活用させていただきます。来年度も皆様のご協力をお願いいたします。

### 令和5年度 特別協力金をいただいた方 ご協力ありがとうございます

(順不同・敬称略)

- |                   |                     |              |
|-------------------|---------------------|--------------|
| STUDIO MASSIMO    | 外院南住宅自治会            | 水永 妙子        |
| 衣笠 拓也             | 服部 恒夫               | 浅野 直弘        |
| 片山 洋              | 行政書士濱坂和子事務所         | 外院の里自治会      |
| 東小学校PTA           | 仲野 公                | 箕面東コーポラス自治会  |
| 井 育代              | 栗生間谷西3-3自治会         | 平野 クニ子       |
| 上田 伸治             | グリーンヒル東箕面自治会        | 尾崎 恭子        |
| 仲川 澄子             | 栗生第4住宅自治会           | 栗生ショッピングセンター |
| 訪問看護ステーションHAPPY   | 介護付有料老人ホーム ファンライフ箕面 | 帝釈寺          |
| 合同会社いしがき リーベケアプラン | 栗生第6住宅自治会           | ライトハウス(株)    |
| カラオケ喫茶 あんてい       | 豊澤 明                | 栗生外院自治会      |
| グランメール            | 川本 吉昭               | 外院向日ヶ丘自治会    |
| ポルト・ポヌール          | 村上 郁美               | 豊川住宅自治会      |
| S Kテクノ            | 和田 珠子               | 東栗生新家自治会     |
| 小川 裕司             | 水永 斉                |              |

## 元日に起きた「地震災害」 備えを！

元日の能登半島沖地震には正月気分が吹き飛び、遠い被災地に思いを馳せながら直接支援ができないもどかしさを感じています。1月22日に豊川北小地区福祉会と一緒に募金活動には246,281円の多額の善意が寄せられ、日本赤十字社箕面支部を通じて被災地に届けることができました。ありがとうございました。



今我々にできることは復興支援はもちろんですが、いざ震災が起こった時に、どのような備えをしておくのかを考えることだと思います。



いつ来るか分からない災害に対する取り組みを全体で推し進めてまいりましょう。

### 編集後記

東小地区は箕面市の中で高齢化率1位を更新しています。つまり人生の先輩方が一番多く健在されているということ。

地域の先輩方に様々な場面でお世話になり、親子ともども成長することができました。先輩方にどんな恩返しをすればいいのかと日々模索しています。

## 令和6年度 定期総会のお知らせ

と き 令和6年5月19日(日) 午後1:30～  
 と ころ コミセンみどりの家大会議室  
 内 容 令和5年度事業報告・決算報告  
 令和6年度事業計画・予算等



# ささえあい推進会議



令和6年1月21日、みどりの家で開催された、社会福祉協議会主催の「ささえあい推進会議」には、56名の方が参加し、防災、地域活動への参加、居場所などについて、グループに分かれて話し合いました。

- 東小校区は箕面市の中でも高齢化率第一位
- 高齢者の移動手段の資源を確保する必要性
- 自治会の存続危機、自治会役員の負担軽減
- 土日が休みでない就労者や共働き世帯の増加にあった地域活動の手法
- みどりの家の予約システムの導入
- 男性の地域活動への参加促進 など、



様々な意見が飛び交い、盛り上がりを見せました。ささえあい推進会議で生まれた公園プロジェクト『公園で栗生〜よ』は本格始動し、定期開催が実現しています。

## kayou 会



コーヒーのいい香りに賑やかな声、流れている音楽は昔純喫茶で聞いたことのある懐かしい音楽。お喋りだけではなく横で始まったのは木のコマを弾いて遊ぶ『キャロムゲーム』。エジプト時代に始まり世界に広がったビリヤードの原型のゲームです。滋賀県彦根市では簡易に遊べる『カロム』を考案し kayou 会では『キャロム』も『カロム』もしています。「ここに通う・火曜日・歌謡」のちょっと面白い会。ぜひお越しください。



参加費 100円(本格モカコーヒー付)  
日時 毎週火曜日9時から11時  
場所 東小学校ふれあいルーム  
(北門左側にあるインターホンを押して)入場です。



## みのお東「わいわい食堂」より感謝とお願い

地域の皆さんのお蔭で8年目を迎えます。地域の居場所になるように頑張ります。これからもご支援お願いいたします。

- みのお東「わいわい食堂」
- 開催日:基本第4土曜日
  - 受付時間:11時30分~13時
  - 場所:東生涯学習センター 講座室(B1階)
  - 料金:子ども(高校生以下)無料 大人300円
  - 連絡先:村上 ☎ 729-7567



東子ども食堂の会

\*カンパ・食材支援、大歓迎です。スタッフも募集中です。

## 市長訪問

豊川南小地区福祉会の井上会長と共にカロム・キャロムボードを箕面市に寄贈しました。



## 全市一斉防災訓練(1月17日)に64%の自治会が参加!



毎年1月17日は、箕面市全体で「黄色いハンカチ作戦」として、震度5以上を想定した安否確認の訓練を行なっています。みなさんも、防災スピーカーからサイレンが鳴った時、無事なら「大丈夫です」を示す黄色いタオルやハンカチを玄関先に掲げられましたでしょうか。

災害時に、黄色いハンカチの有る無しで安否を自治会や近隣の人が確認できれば、救助の必要なところをいち早く見つけだし、助けることができます。今年は東小校区での参加率は64%でしたが、能登半島の地震でもわかるように人命救助は一刻を争います。住民のみなさんがこの「黄色いハンカチ作戦」の意味を知って、災害がおこった時に実行できるようにしておきましょう。

\*自治会のないところでも、管理組合による安否確認や訓練が広まっています。また、市は災害時に備えて自治会や防災組織のたちあげに協力しています。ぜひ相談してみてください。



災害時、東小学校は校区の避難所になります。



安否確認の結果を自治会の役員さんが避難所(東小学校の北門受付)に報告してくださいました。



東保育所の子どもたちが東小までの避難路を先生と確認していました。

## 自治会通信 外院南住宅自治会 耐震出前講座「予想される巨大地震に備えて」

外院南住宅自治会では、1月1日に発生した能登半島地震で不安に思われた方からのお声をきっかけに、箕面市役所・みどりまちづくり部を介して、NPO法人「人・家・街安全支援機構」をご紹介いただき、3月2日、外院南住宅自治会館にて『耐震出前講座』を開催しました。

講座では、西日本は現在地震の活動期であり南海トラフ地震の発生する確率が70~80%であること、昭和56年以降に建築された建物は「新耐震」であるものの、蟻害、腐朽による家屋の危険性や阪神淡路大震災などこれまでの地震による建物へのダメージがあること、耐震診断の概要、地震災害から暮らしを守る耐震リフォームや安価で効果的な耐震補強工法、リフォーム補助金、高齢者向け返済特例制度など、スライドを用いて非常に分かりやすく説明していただき、耐震の重要性を学ぶ良い機会となりました。また、講座後の個別相談会では、4名の一級建築士が、個々の悩みや不安に対して丁寧に対応して下さいました。

近年、悪徳リフォーム会社による詐欺被害など、高齢者を狙う犯罪が多発しています。自治会が窓口になることで、自治会員の希望者が安心して耐震診断を受け、また、耐震診断の結果により、リフォームはできなくとも寝室の変更や家具の配置などを見直すことで『命を守る』生活に繋がればと切に願っています。



自治会会長の石井雄輔さんから1年間の自治会活動についてコメントを頂きました。「地域活動への初参加でしたが、近所の方々に声を掛ける機会を通じて、心も近くなりました。あいさつだけをする顔見知りから、名前で呼べる人が増えることで、住まいの場所を「地元」と呼べるようになった気がします。」石井さんは東小学校で開催されている子どものラグビー教室でコーチとしても活動されています。



本年度自治会役員での忘年会 東小学校近くの Fourviere さんにて



箕面ラグビースクール 東小学校のグラウンドで、年齢と体の成長に合わせたラグビー教室をやっています! <https://minoh-rs.jp/school/>

